

計画の推進

1 計画推進の方針

本計画では、「将来像」「基本目標」の実現に向けて、下記の「計画推進の方針」に基づき、食育活動を活発に展開します。

計画推進の方針 1：食育の場と機会を増やす

食育フェスタ等、市民が創意工夫を発揮する多様な食育活動を増やします。また、八王子産の農産物を利用する市民が増え、安全で良質な食材や中食*（13頁にて説明）が販売され、まちの飲食店等で健康的なメニューを選択することができるよう、働きかけを行います。

計画推進の方針 2：市民と行政の協働による食育ネットワークを拡大する

食育協議会を設立して、市民と行政の協働によって食育活動を支える食育ネットワークを拡大し、充実させます。

本市における食育は、すでに様々な形で行われ、連携の動きもありますが、全体の共有には至っていないのが現状です。また、市民の身近な場所で、食育に関心をもつきっかけをつくることも求められています。

これらを踏まえると、計画の推進にあたっては、まず、既存の事業や活動に関係する全ての人と組織が、本計画があげる3つの基本目標を共有し、全ての食育を同じ考え方と目標に沿って進めることが重要です。

その上で、既存の健康、食、農に関する事業や活動に可能な限り食育を組み込み、食育の場と機会をさらに増やすことや、既存の事業や活動では十分カバーできていない食育活動を強化するために、新たな活動を提案することが必要です。

また、食育活動全体の質を高め、様々な活動の連携を図りながら食育を推進するために、新たに市民と行政の協働による食育ネットワークとなる組織をつくる必要があります。

八王子市食育推進計画が目指す将来像 食を大切にしている人々を育むまち

基本目標 1

望ましい
食生活を送る

基本目標 2

食の基本的な
知識、マナー、
スキルを
身につける

基本目標 3

食を通じて、
家族、地域、
自然とつながる

展開手段 1 全てのライフステージに応じた食育を進める

展開手段 2 食に関わる様々な場面を食育につなげる

展開手段 3 食育に関わる個人や団体を支援し元気づける

計画推進の方針 1

食育の場と機会を増やす

計画推進の方針 2

市民と行政の協働による食育ネットワークを拡大する

2 市民と行政の協働による食育の推進

① 市民を中心として関係団体、事業者、関連部署が連携し、計画を推進します

本市の食育推進にあたっては、八王子市の地域特性や食育に関連する現状を踏まえ、市民を中心として関係団体、事業者等が連携し、計画を推進します。

行政においては、特に食育との関連が深い、健康づくり、産業振興、教育の分野の関連部署との連携により初めて実現できる施策が含まれているため、互いに施策・事業の実施を進めるとともに、情報の共有を図る等、市民を中心とした食育推進の基盤を整備し、計画の実行性を高めます。

② 食育推進のための協議会を設置していきます

■協議会の位置づけ

地域に広く食育を浸透させていくことを目指し、市民活動団体、事業者、行政が主体となって個々に行っていた食育を一体となって取り組むために検討していく場として食育協議会を設けます。

■協議会のメンバー

食を通じたまちづくり・まちの活性化につながるように、様々な活動をしている主体の参加を募っていきます。

■協議会の行うこと

各主体の取組み状況を共有するとともに、食育ネットワークの強化、食育フェスタの開催、食育サポーターの育成と活動支援、食育推進計画の評価等について、様々な形で支援を行います。

■協議会の運営等

会の事務局は、当面、行政が担い、運営をバックアップします。また、食育協議会は、メンバーが参加する各種組織（健康づくり協議会等）と情報を共有し、連携を図っていきます。

③ 食育ネットワークの強化

現在、市内で食育に関する活動が様々な形で行われていますが、活動を進める上で、関心をもつきっかけづくりや情報の共有などが求められています。

食育協議会の組織を通じて、はちおうじ食育ネット（ホームページ）の一層の充実によって情報発信を強化するとともに、市内の食育ネットワークの強化を図ります。

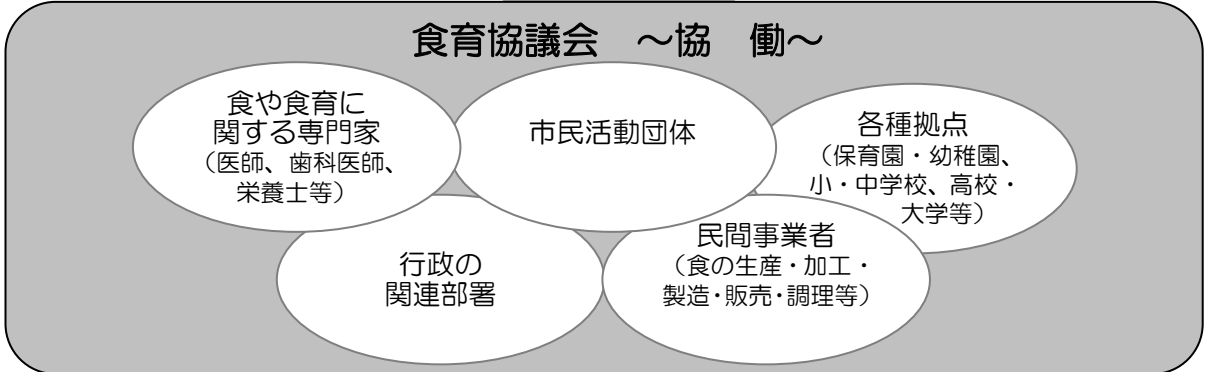
④ 食育フェスタの開催～各団体の活動のきっかけづくり～

食にまつわる市民や行政の多様な活動が一堂に会して多彩な取組みに触れられ、ネットワークの強化につながる祭典として、食育フェスタを開催します。食育フェスタの企画・運営については、実行委員会（又は作業部会）を設置し、食育協議会が支援します。

⑤ 食育サポーターによる食育の推進

食育の欠けている部分の推進を担う、食育サポーターを募集します。学生食育サポーター、一般食育サポーター等の多様な参加形態を想定し、地域のイベントや食育フェスタ等の食に関わるイベント・講習会での活動や、児童館や市民センターにおける、子どもたちや地域の人たちへの郷土料理、伝統料理等の伝承に取り組みます。

●食育ネットワークのイメージ



3 計画の評価

(1) 評価の方法

本計画に実効性を持たせるために、食育協議会を中心に評価委員会、連絡会議等を立ち上げ、取り組みの進捗状況の確認、評価を行い、さらに効果的な食育の推進を検討します。これにより、「将来像」「基本目標」の達成に向けた取り組みの展開を図っていきます。

(2) 評価の指標

本計画の評価にあたっては、朝食欠食者の減少や野菜摂取量の増加などで示される食育の成果ではなく、下記のような評価指標を設定し、計画推進の方針に沿って食育活動の拡大の度合い等を評価します。

評価指標 1 : 食育の場の数 (タイプ別)

評価指標 2 : それぞれの食育の場を支えるネットワークの状況

評価指標 3 : 市民と行政の協働によって運営される食育ネットワークの機能レベル

人々の食生活は、様々な社会経済状況の影響を受けており、食育だけで全面的に変わるものではありません。たとえば、若い女性の朝食欠食が増えたことは、働く女性の増加や時間に追われる厳しい労働環境と深く関係しています。しかし、人々の食に関する知識や意識、スキルが高まることによって、社会及び経済活動も、健康と深く関わる食をより重視したものへと徐々に変わっていきます。それが本計画を策定する狙いです。

5年計画における必要かつ現実的な目標は、食育の場が増えることと、それを支える食育ネットワークが確立され、機能することです。

食育の場が増えても、すぐに食を大切にする市民が増えるわけではありませんが、多くの場で食育が継続的に行われることにより、食を大切にする市民が増える可能性が高まります。また、食育ネットワークによって食育の場を増やし、その質を高めることが可能となります。

これらの目標が達成されることで、5年計画の後も、本市における食育のさらなる発展が期待されます。

(3) 評価の時期

平成23年度・平成25年度(中間)・平成27年度(最終)に評価を行います。

4 食育推進のための普及について

市民が食育に親しみをもつきっかけとなる普及啓発事業の一つとして、食育推進のイメージキャラクター及び名称を市民から募集しました。

■募集の内容

八王子市及び食育をイメージする、誰にでも親しまれるキャラクターデザイン及びその名称とコンセプトの説明

※選定基準・・・○子どもから大人までが食育をイメージできるもの

○八王子らしさを表現したもの

■応募資格

八王子市在住又は在勤、在学（園）者

■応募期間

平成22年6月1日（火）～平成22年6月30日（水）

■選定方法等

応募作品の中から、事務局による予備選考後、食育推進協議会で選考のうえ、入賞作品を決定し、最優秀賞の作品を図案化した。

■応募作品数

応募総数：約2,400作品

最優秀賞

はちおうじ食育キャラクター はっちくん

（八王子の「八」と鉢うえの「鉢」をかけています）

作者

八王子市立榎原中学校 2年
星野 莉沙さん

はちおうじ食育キャラクター
はっちくん のコンセプト

うえきばちのキャラクターです。鉢に植えてある野菜で「育てる」をイメージし、スプーンとフォークで「食べる」をイメージしました。八王子のマークのついた鉢に植えてある野菜は、八王子で育った野菜を表しています。八王子の野菜を食べよう！！という思いを込めました。三原色を入れたことで栄養バランスの大切さも表現しました。

